



2022年7月13日

各位

## GPIF が採用するすべての ESG 投資指数の構成銘柄に継続選定

- ・ GPIF が採用する 5 つの ESG 指数について、運用開始当初よりすべての構成銘柄に継続選定
- ・ 世界的な ESG 指数である FTSE4Good Index Series に 20 年連続、MSCI ESG Leaders Indexes に 13 年連続で選定
- ・ ESG リスク耐性を評価する MSCI ESG 格付けにおいて、上位から 2 つ目の「AA」を継続獲得

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、このたび、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の要素に配慮した国内株式を対象とするすべての ESG 指数について、構成銘柄として継続選定されましたのでお知らせいたします。

【GPIF が採用する 5 つの ESG 指数】 ※運用開始当初より、すべての指数で継続選定

- ・ FTSE Blossom Japan Index（2017年7月より運用開始）  
環境、社会、ガバナンスの対応に優れた取り組みを行っている日本企業のパフォーマンスを反映するよう設計されたインデックス
- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数（2017年7月より運用開始）  
日本株の時価総額上位 700 銘柄の中から、業種毎に ESG 格付けが相対的に高い銘柄を選別して構築するインデックス
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）（2017年7月より運用開始）  
日本株の時価総額上位 700 銘柄の中から、業種毎に性別多様性に優れた銘柄を選別して構築するインデックス
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数（2018年9月より運用開始）  
東証株価指数（TOPIX）の構成銘柄を対象とし、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準に着目して設計したインデックス
- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年3月より運用開始）  
FTSE Blossom Japan Index と同様の ESG 評価をベースに、環境負荷の大きさ、および企業の気候変動リスクに対するマネジメントの評価を加えたインデックス

これらに加えて、当社は主要な ESG 指数である「FTSE4Good Index Series」に 20 年連続、「MSCI ESG Leaders Indexes」に 13 年連続で選出されており、環境・社会・ガバナンスの観点でその持続可能性が高く評価されています。さらに、ESG リスク耐性を評価する MSCI ESG 格付けにおける 7 段階評価のうち、上位から 2 つ目の「AA」を継続して取得しており、将来起こり得る様々な ESG リスクに対する当社の耐性が相対的に高いと評価されていることを意味しています。

中外製薬では「当社と社会の共有価値の創造」を経営の基本方針として掲げ、「患者中心の高度で持続可能な医療の実現」を目指しています。今後も、SDGs や ESG の取り組みに関する適切な情報開示に努めるとともに、中外製薬にしかできないイノベーションを駆使して、患者さんや社会に対して価値を創出し、当社の事業活動を通じて社会課題の解決や持続可能な社会の構築に寄与してまいります。

【参考資料】

中外製薬 サステナビリティ ウェブサイト 社外からの評価

<https://www.chugai-pharm.co.jp/sustainability/evaluation/>

中外製薬 サステナビリティ ウェブサイト 活動報告

<https://www.chugai-pharm.co.jp/sustainability/activity/>

中外製薬 アニュアルレポート

[https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports\\_downloads/annual\\_reports.html](https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports_downloads/annual_reports.html)

以上